

2016年10月中旬配本予定

近藤洋太 評論集

詩の戦後——宗左近／辻井喬／栗津則雄

近藤洋太

Kondo Yota

詩の戦後

宗左近／辻井喬／栗津則雄

四六判並製（クータ）／352頁／2,400円+税
ISBN978-4-908568-06-0 C0095 ¥2400E

戦後、詩は何を経験してきたのか。

1955年『死の灰詩集』論争で切り開かれた詩の戦後。2011年東日本大震災後の現在まで、詩は何を経験してきたのか。宗左近、辻井喬、栗津則雄、寺門仁、古木春哉、秋山清、吉本隆明、眞鍋呉夫の名と共に語られる詩の戦後の記憶。

著者略歴

近藤洋太 こんどう・ようた

1949年福岡県久留米市生まれ。中央大学商学部経営学科卒業。大学卒業間際、眞鍋呉夫の紹介で檀一雄主宰の「ポリタイア」に参加。林富士馬、古木春哉、谷崎昭男ら「日本浪漫派」ゆかりの人たちの知遇を得る。同人詩誌「翼」、「SCOPE」他に参加。現在「歷程」、「鷹」同人。添田馨らと「スタンザ」発行。詩集に『もがく鳥』（78年）、『七十五人の帰還』（81年）、『カムイレンカイ』（85年）、『水縄譚』（93年）、『水縄譚其弐』（00年）、『筑紫恋し』（11年）、『果無』（13年）、『CQICQ』（15年）など。評論集『矢山哲二』（89年）、『反近代のトポス』（91年）、『〈戦後〉というアポリア』（00年）、『保田與重郎の時代』（03年）、『人はなぜ過去と対話するのか——戦後思想私記』（14年）、『現代詩文庫231 近藤洋太詩集』（16年）、『辻井喬と堤清二』（16年）。

戦後、詩は何を経験してきたのか。
一九五五年『死の灰詩集』論争で切り開かれた詩の戦後。
二〇一一年東日本大震災後の現在まで、詩は何を経験してきたのか。
宗左近、辻井喬、栗津則雄、寺門仁、古木春哉、秋山清、吉本隆明、眞鍋呉夫の名と共に語られる詩の戦後の記憶。

詩集「子午線」本体2,400円+税

第一章 詩の戦後

第二章 われわれが踏み込みつつある世界 二〇〇三—二〇一五

第三章 空瓶通信抄 震災前／震災後

▶ご注文はツバメ出版流通まで

FAX 03-3721-1922

TEL 03-6715-6121 E-mail info@tsubamebook.com http://tsubamebook.com

貴店名（番線印）

新刊 書肆子午線

info@shoshi-shigosen.co.jp

返品条件注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人

ご注文数

詩の戦後 —— 宗左近／辻井喬／栗津則雄

ISBN978-4-908568-06-0 C0095 / 四六判並製 / 352頁 / 本体 2,400円

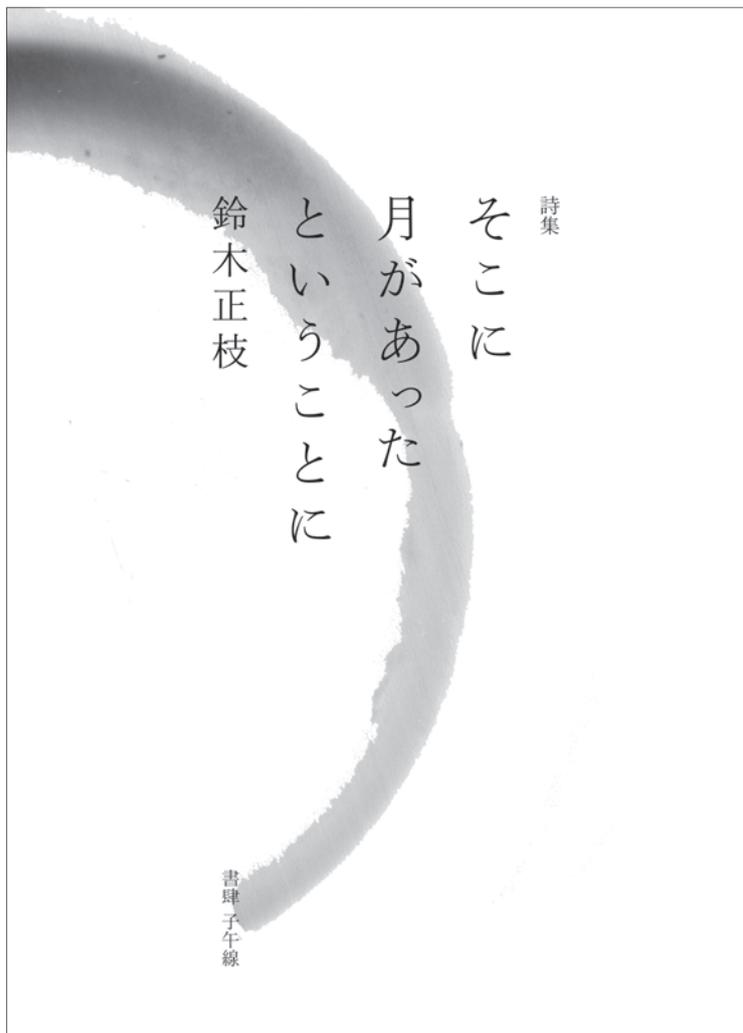
ご担当

様

冊

2016年11月上旬配本予定

鈴木正枝 詩集 そこに月があったということに



四六判並製（クータ）／112頁／2,000円＋税
ISBN978-4-908568-07-7 C0092 ¥2000E

遠すぎる距離が淋しいだけ

時の往来、日々の陰陽にひそむ解き得ない
こころの揺れ。その揺れの小さな叫喚にそっと
手を寄せる。鈴木正枝第二詩集刊行。

著者略歴

鈴木正枝 すずき・まさえ
1945年茨城県出身。
詩集『キャベツのくに』（2010年／ふらんす堂）。

目次

隠し事	アラと	三十二歳の誕生日
一輪	帰り道	銀の鞆えんどう
理由をさがして	正午	残っていくもの
去りゆくもの	ある晴れた朝に	
一枚の斉藤	バイバイ	
陽が落ちて	わたしと女の子	
りんご園	今日の出来事	
転位していく想い	小さな叫びが	
別れ	ふたりの世界	
春の暮れ方	命のねむり	
雨とおばさん	午後の訪問者	
	いえの構造	

ただあの家のあの木が愛おしいだけ
あの時も今も
遠すぎる距離が淋しいだけ

▶ご注文はツバメ出版流通まで **FAX 03-3721-1922**

TEL 03-6715-6121 E-mail info@tsubamebook.com <http://tsubamebook.com>

貴店名（番線印）

新刊 書肆子午線

info@shoshi-shigosen.co.jp

返品条件注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通：川人

ご注文数

鈴木正枝 詩集 そこに月があったということに

ISBN978-4-908568-07-7 C0092 / 四六判並製 / 112頁 / 本体 2,000円

ご担当

様

冊